

2019年2月期 第3四半期

決算説明資料

2019年1月15日

古野電気株式会社

注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

◆ 売上：微増

北米・欧州・アジア地域における船用事業の売上が伸長、
通信・GNSSソリューション事業好調により増収。

◆ 利益：増益

売上増に加えて生産効率改善、製品構成の変化、
為替影響等により売上総利益率が向上。

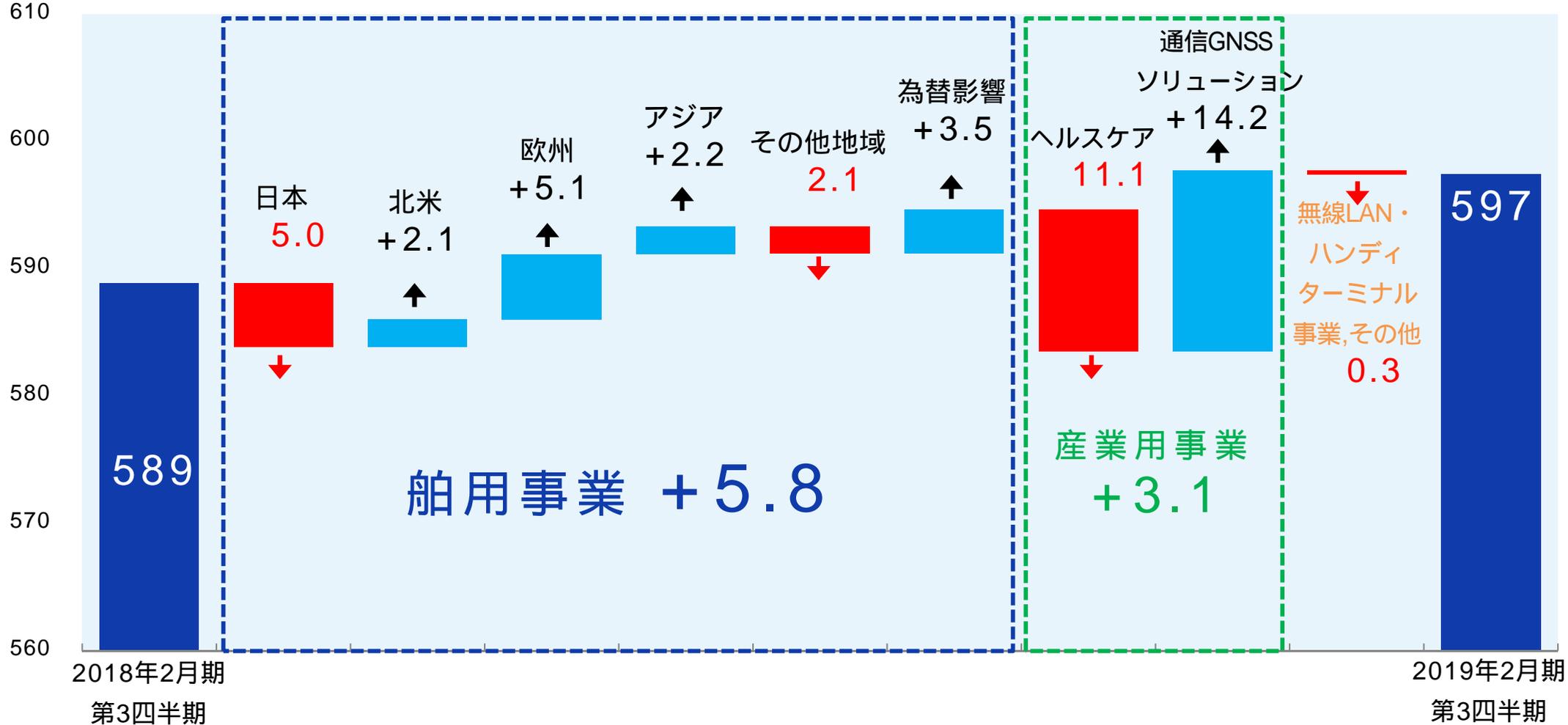
2019年2月期 第3四半期 連結決算概況

FURUNO

(単位：百万円)	2018年2月期 第3四半期	2019年2月期 第3四半期	増減比(額)	増減比(率)
売上高	58,887	59,729	+842	+1.4%
売上総利益 (対売上高比率)	21,408 (36.4%)	23,666 (39.6%)	+2,258 (+3.2)	+10.5%
営業利益 (対売上高比率)	2,194 (3.7%)	3,876 (6.5%)	+1,682 (+2.8)	+76.6%
経常利益 (対売上高比率)	2,017 (3.4%)	4,186 (7.0%)	+2,169 (+3.6)	+107.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (対売上高比率)	1,587 (2.7%)	3,329 (5.6%)	+1,742 (+2.9)	+109.7%
研究開発費 (対売上高比率)	3,246 (5.5%)	3,373 (5.6%)	+127 (+0.1)	+3.9%
設備投資額 (対売上高比率)	2,218 (3.8%)	1,856 (3.1%)	362 (0.7)	16.4%
減価償却費 (対売上高比率)	2381 (4.0%)	2,295 (3.8%)	86 (0.2)	3.6%
(単位：円、期中平均レート)				
為替(対ドル)	112	110	2	2.2%
為替(対ユーロ)	125	131	+6	+4.9%

売上高の増減分析

(単位：億円)



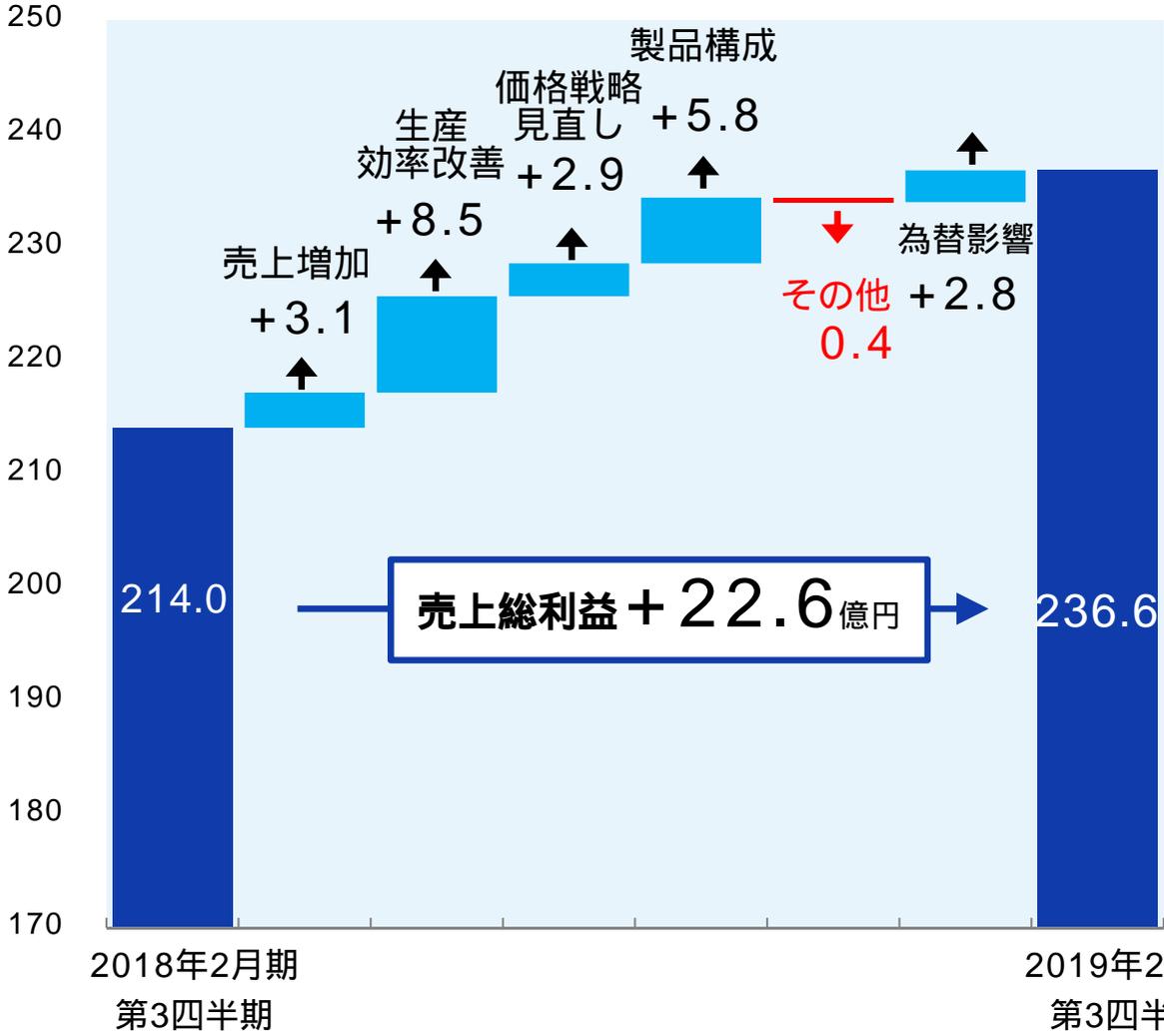
- 北米・欧州・アジアで船用事業が増収
- 為替がプラス方向に影響
- 通信・GNSSソリューション事業が好調

為替感応度 (2018年2月期実績値)
 【ドル】売上高1.1億円、営業利益0.5億円
 【ユーロ】売上高1.4億円、営業利益0.7億円

利益の増減分析

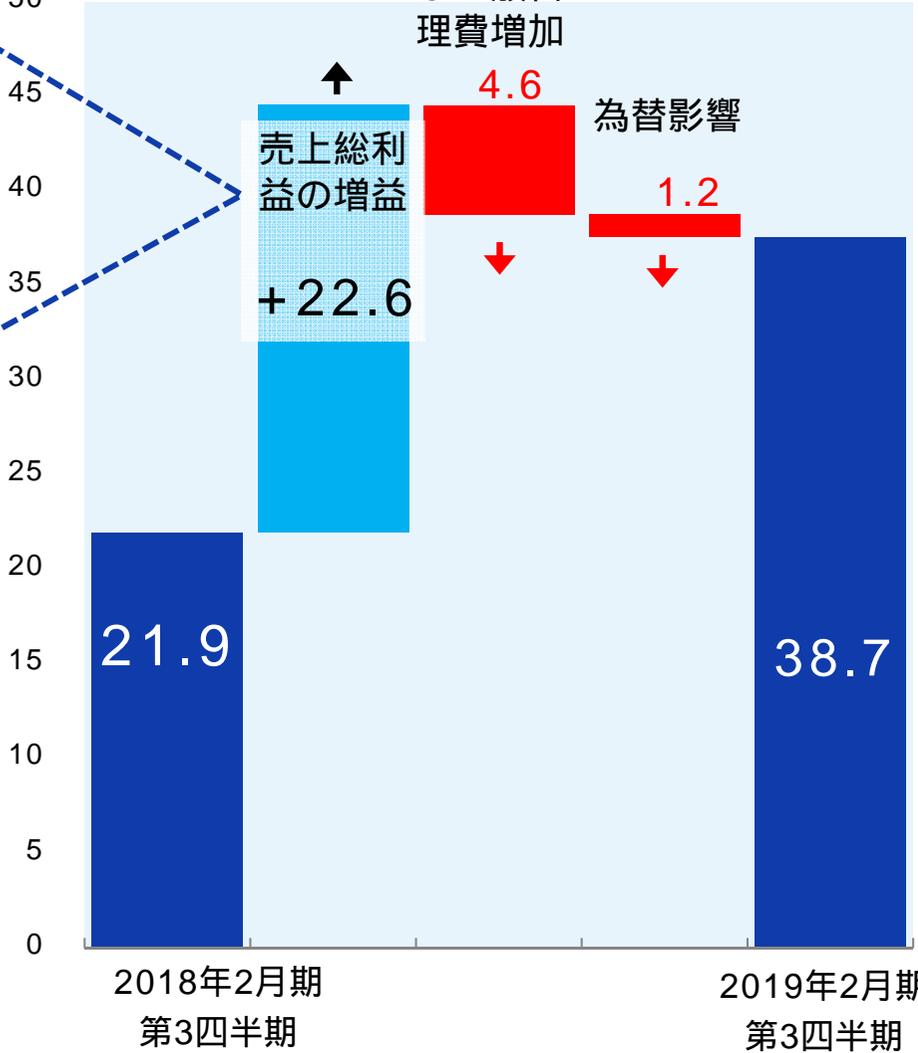
売上総利益の増減分析

(単位：億円)



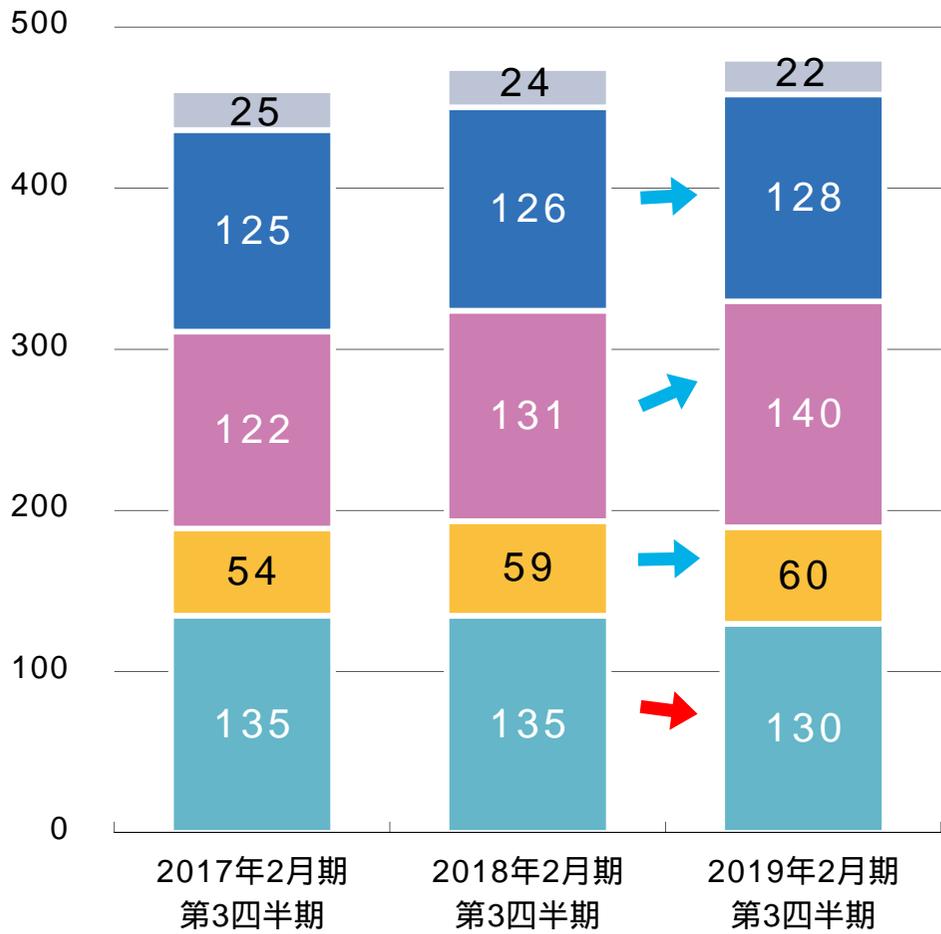
営業利益の増減分析

(単位：億円)



**船用事業・連結売上高
(累計・地域別)**

(単位：億円)
600



船用事業：

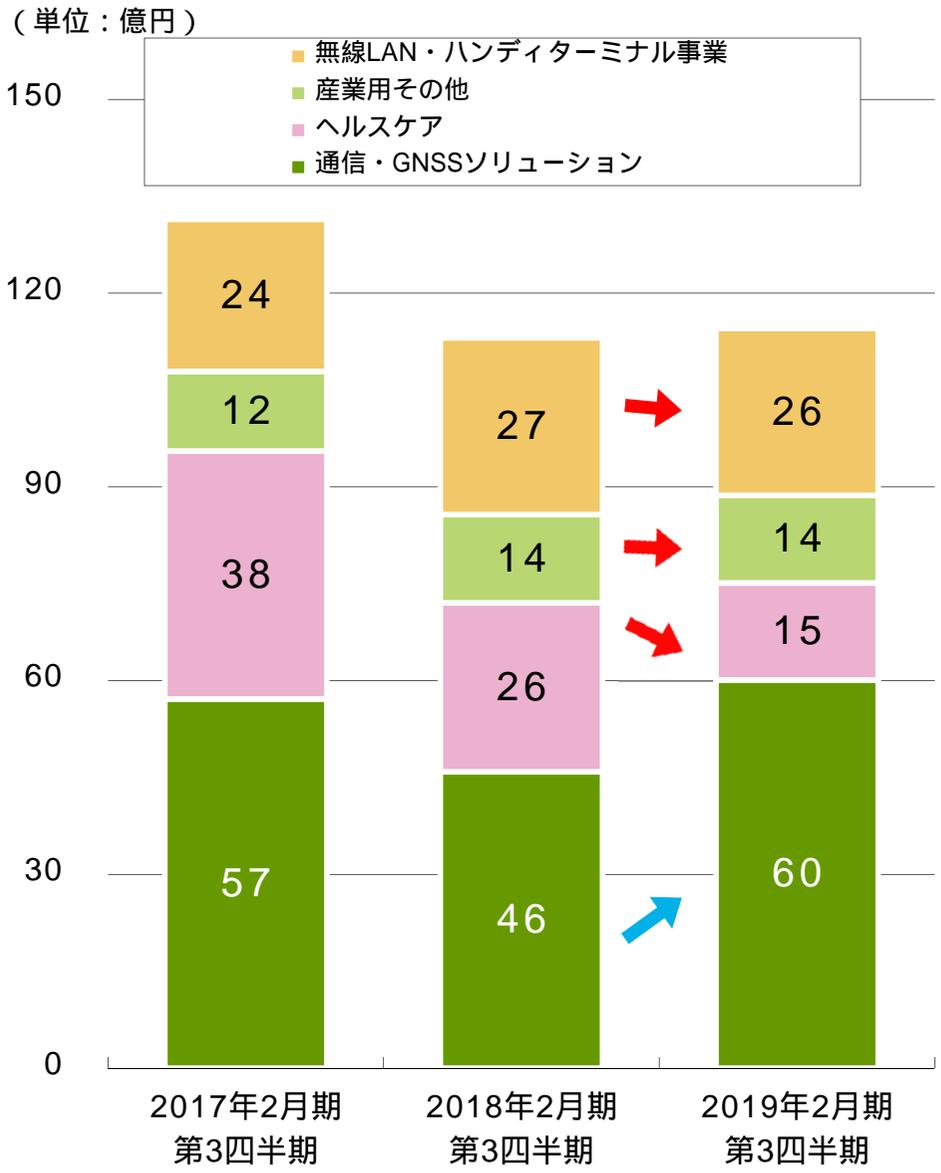
売上高 480億円 (前年同期比 +1.2%)

セグメント利益 30億円 (+20億円)

北米・欧州・アジアで増収
生産効率改善や為替影響等により大幅増益

- ◆ 日本：売上高 130億円 (-3.7%)
 - 漁業向け減収
- ◆ 北米：売上高 60億円 (+2.1%)
 - 漁業向け、小型商品向け増収
- ◆ 欧州：売上高 140億円 (+7.3%)
 - 商船向け、漁業向け増収、
為替がプラス方向に影響
- ◆ アジア：売上高 128億円 (+1.7%)
 - 商船向け増収

産業用事業、無線LAN・ハンディターミナル事業 連結売上高（累計・製品群別）



産業用事業：
 売上高 88億円（前年同期比 +3.5%）
 セグメント利益 4.8億円（ 1.1億円）
ヘルスケア事業減収も通信・GNSSソリューション事業増収

- ◆通信・GNSSソリューション事業：
 - 売上高 60億円（+31.0%）
 - ▶受託事業等及び周波数発生装置の売上が増加
- ◆ヘルスケア事業：売上高 15億円（ 42.6%）
 - ▶生化学自動分析装置の売上が減少

無線LAN・ハンディターミナル事業：
 売上高 26億円（前年同期比 5.5%）
 セグメント利益 4.0億円（ 1.4億円）
無線LANの売上横ばい
ハンディターミナルの売上減少

トピックス

「フルノ・マレーシア」を設立、マレーシアでの営業・アフターサービスを強化

フルノ・シンガポールは、マレーシアに「[フルノ・マレーシア](#)」を設立し、2018年10月より事業活動を開始しました。

フルノ・マレーシアは、マレーシア国内の既存販売代理店と連携して顧客のサポートを行うとともに、新たな商品・サービスを展開して新規市場開拓を担う現地法人の位置づけとして、マレーシア・セランゴール州に新設しました。

同社の親会社となるフルノ・シンガポールは、当社船用事業における東南アジアの中核拠点として、マレーシアやインドネシア、バングラデシュを含む地域で事業活動を展開しており、フルノ・マレーシアは2016年のフルノ・インドネシアに続く2つ目の子会社となります。

当社グループは今後も、長期的な地域戦略に基づいて密接な現地ディーラーおよび顧客サポートを強化するとともに、船用のみならずソリューション分野も含めた幅広い事業分野でグローバルな事業展開を図ります。



「少数精鋭」の衛星選択で世界最高水準のGPS時刻同期精度を実現

日本電信電話株式会社（NTT）と当社は、ビル街や山間部などのシビアな受信環境においてGPSなど航法衛星（GNSS）による時刻同期精度を飛躍的に向上するGNSSレシーバの開発に成功しました。

今回、NTTが独自に開発した衛星信号の選択アルゴリズムを当社の時刻同期用GNSSレシーバに搭載することにより、見通し状態にある衛星信号だけでなく、従来、高精度な時刻同期を阻害する要因となっていたマルチパス（ビルなど構造物に反射・回折する衛星信号）を活用することが可能となりました。

当社は、本技術を搭載した時刻同期用GNSSレシーバの新製品「GF-88」シリーズを2019年4月より販売開始する予定で、今後は高精度な時刻同期を必要とする4G・5Gモバイル基地局などに幅広く展開する予定です。



802.11ac Wave2対応「エアサイネージ2」を開発

フルノシステムズは、サービス利用者の端末にクーポンや資料などのコンテンツをWi-Fiで配信するプラットフォームの新製品「[AirSignage2（エアサイネージ2）](#)」を開発しました。

「エアサイネージ」は、オフィスやショッピングモールなどに設置した専用サーバが発信するWi-Fiに、お手持ちのスマートフォンやタブレットを接続してクーポンや資料のダウンロード、アンケート回収などにご活用いただける新感覚のプラットフォームです。

インターネット回線が不要で、Wi-Fiの届く範囲内においてコンテンツを閲覧利用できるほか、利用者は、専用のアプリをダウンロードすることなく、お手持ちのスマートフォンやタブレットから指定されたネットワークに接続するだけでサービスを利用できます。本製品は、2012年に発売した『エアサイネージ』の後継機種として開発され、通信の安定化や高速化、デザインの刷新が施されました。



エアサイネージ2外観



特別な設定不要で指定されたネットワークにスマホやタブレットを接続して使用

健康経営への取り組み

当社では、社員の健康意識向上と、安心して働くことのできる職場環境の整備を強力に推進していくために、[古野電気健康宣言](#)を2018年に制定しました。

重点施策に「疾病の早期発見と重症化予防」「生活習慣の改善支援」「健康に配慮した、働きやすい環境の整備」を挙げており、全従業員に健康診断を確実に実施し、適切な受診勧奨、保健指導を実施するほか、ストレスチェックの実施とその結果を踏まえた職場環境の改善、また、生活習慣の改善に繋がる様々な企画を実施しています。

生活習慣改善の具体的な取り組みとして、ウォーキングキャンペーンの実施や、外部講師をむかえてミニボールを使った筋力トレーニングなどを開催しています。



補足. フルノグループの事業概要

古野電気は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2018年2月28日現在



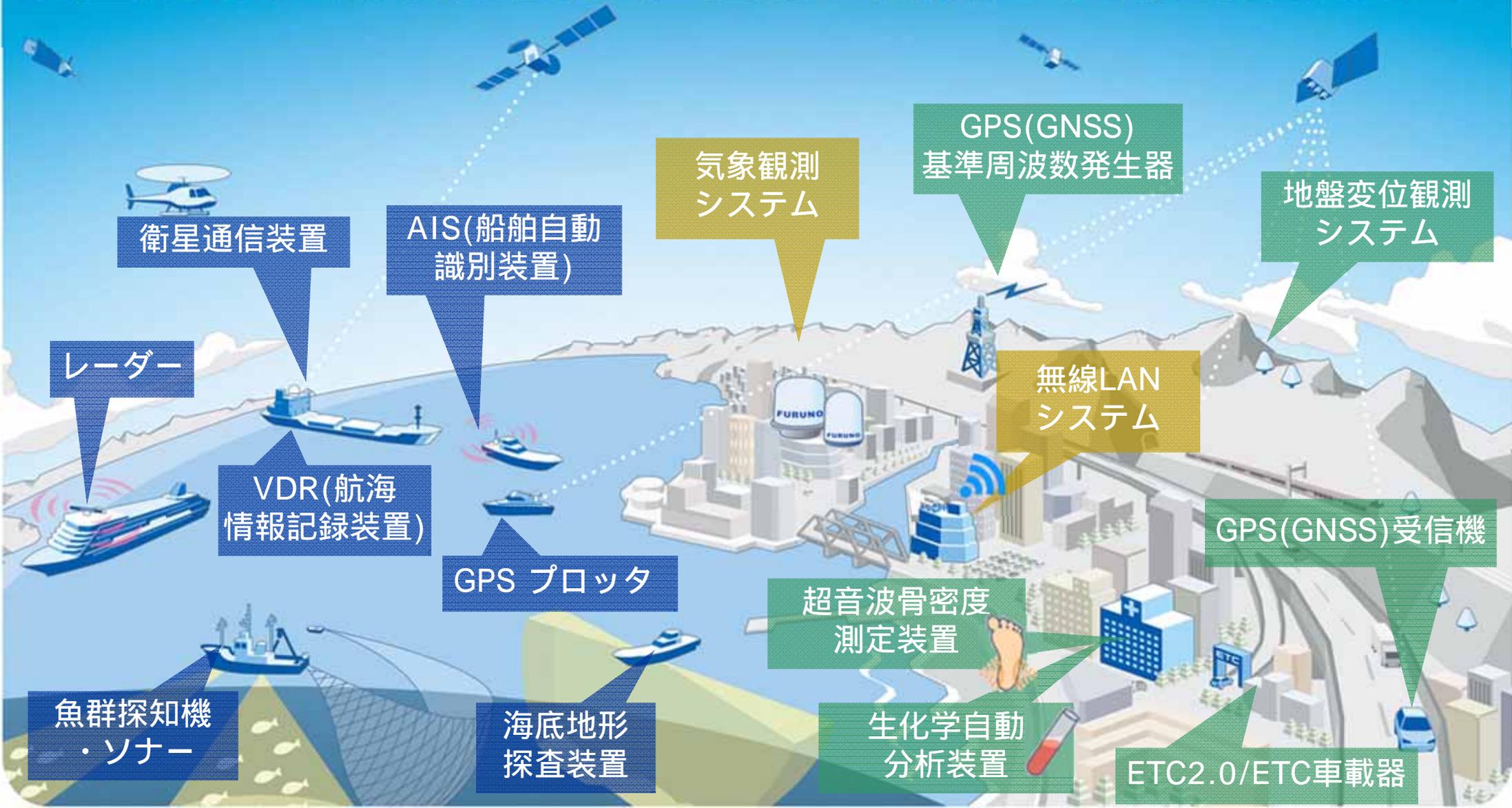
社名	古野電気株式会社
本社所在地	兵庫県西宮市
設立	1951年 (昭和26年)
事業内容	船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
資本金	7,534 百万円
代表者	古野 幸男
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード：6814)

IR情報サイト <http://www.furuno.co.jp/ir/>

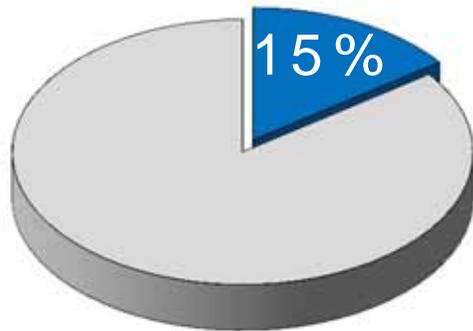
製品情報サイト <http://www.furuno.com/>

企業ブランドサイト <http://www.furuno.com/special/jp/corporatemovie/>

安全安心、環境に優しい社会・航海の実現を目指して

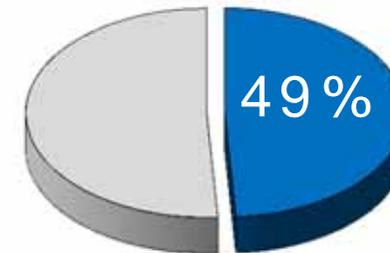


商船向け



市場規模 1,900億円

漁業向け



市場規模 500億円

総合船用電子機器メーカーとして、世界シェアトップ

(世界市場4,200億円のうち、シェア15%占める)

市場規模は2017年の各社売上データに基づく当社推定による試算値